

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34108	図書館制度・経営論 Study of Library System/Management	江良 友子	専門	2	選択	1・2年 後期
<b>科目の概要</b>						
公立図書館の管理運営にかかわる法律、政策、行財政制度を概説し、図書館運営・活動計画の策定と管理運営のあり方、図書館職員をめぐる現況と課題等について解説する。公立図書館の経営の実態例を紹介しながら、課題や問題を考察する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 図書館法について学ぶ ② 図書館関連領域の法規について学ぶ ③ 図書館政策について学ぶ ④ 図書館経営の理論と実際について学ぶ ⑤ 現代図書館が抱える様々な課題について学ぶ			① 図書館法の内容を理解することができる ② 様々な図書館関連法を理解することができる ③ 図書館政策を知ることができる ④ 図書館経営の様々な要素を理解することができる ⑤ 現代の図書館が抱えている課題を自分なりに考えることができる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	自ら、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	日常的に公共図書館や書店を利用することができる。				
考え抜く力	課題発見力	毎日、新聞に目を通し、社会の流れを把握することができる。				
	計画力					
	創造力	理想的な図書館像を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	見学してきた図書館について、わかりやすく発表することができる。				
	傾聴力	他の人の発表を聞いて、感想や疑問点をなげかけることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:「図書館情報学基礎資料」 2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円 その他、講義用レジュメおよび追加資料を配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。 参考文献:授業の中で紹介する。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:図書館に関する科目全て 特に、図書館概論と図書館サービス論 資格との関連:図書館司書						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
前期開講の「図書館概論」と「図書館サービス論」の授業を受けていないと、理解することが難しい授業内容が含まれる。未履修の場合は、事前に相談に来ること。 他の図書館に関する科目を履修し、図書館を実際によく利用していると、この科目の内容を理解しやすい。 法律など難しい文章を読み、理解する必要があるため、そのつもりで取り組むこと。			遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに、欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。期日に遅れた場合は受け取らない。 提出する課題は、次回授業日に集め、返却しない。必ずコピーをとっておくこと。 授業の中で新聞社(名古屋市)の見学を予定しているが、往復の交通費は自己負担とする。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	75	①	✓	レポート①:見学した公立図書館について (サービス) (25点)
		②	✓	レポート②:見学した公立図書館について(図書館施設・設備) (25点)
		③	✓	レポート③:図書館と新聞:新聞社見学から学んだこと (25点)
		④	✓	評価のポイント
		⑤	✓	(表記・表現等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・字数制限が守られている。</li> <li>・口語やくだけた表現を使用せず、正しい文章表現を用いている。</li> <li>・「です・ます調」ではなく、「だ・である調」を用いている。</li> <li>・段落ははじめの1字下げなど、基本的なルールを守っている。</li> <li>・情報源は、信頼のおける適切なものを使用している(引用・参考文献)を記載できている。</li> </ul> (内容) <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに合致した内容となっている。</li> <li>・根拠をもとに、自分の考えを明確に述べている。</li> <li>・自分の述べたいことを、筋道立てて論理的に述べている。</li> <li>・意味の通らない文章がなく、論旨が明快である。</li> <li>・内容に説得力があり、読み手を納得させられる内容である。</li> </ul>
成果発表 (口頭・実技)	15	①		評価のポイント
		②		課題①
		③		作成したレポートをそのまま読み上げるのではなく、わかりやすい発表をするための工夫がされているか。(10点)
		④		担当した週の新聞一面を飾った記事
		⑤	✓	わかりやすくまとめて、感想と共に発表する。(5点)
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)授業で指示がなくても、公共図書館や書店に足を運ぶことができる。
		②	✓	(実行力)座学であっても、集中して粘り強く学ぶことができる。
		③	✓	(課題発見力)毎日、日課として新聞に目を通して:授業の中で、1週間のトピックについて発表時間を設ける。
		④	✓	(創造力)見やすいレポート作成ができている。
		⑤	✓	(発信力)見学した図書館の魅力や問題点をわかりやすく発表できる。 (傾聴力)他の人の発表に耳を傾け、そこから何かを学ぼうとする意欲がある。 (規律性)提出期限を順守して提出物を出すことができる。集合時間の5分前には余裕をもって到着することができる。 ※上記の7項目は、課題発見力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点
その他				
総合評価 割合	100			レポート、成果発表、学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>S(秀)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 67 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 13 点以上である</li> <li>・学修態度であげた項目が全て達成できている</li> </ul> <p>A(優)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 60 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 12 点以上である</li> <li>・学修態度の7項目が 6 項目以上達成できている</li> </ul>	<p>B(良)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 52 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 10 点以上である</li> <li>・学修態度の7項目が 5 項目以上達成できている</li> </ul> <p>C(可)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価のポイントに基づいて3回のレポート評価の総計が 45 点以上である</li> <li>・成果発表の総計が 9 点以上である</li> <li>・学修態度の7項目が 4 項目以上達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している</li> </ul>



週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 図書館制度・経営論を学習する意義	講義 質疑応答	図書館制度・経営論を学ぶ意義を理解できる	(復習)配布した資料を読み返す。	180	主体性 規律性 傾聴力
2週 /	図書館法 図書館法とその精神を学ぶ 図書館奉仕とは何か	講義 質疑応答	図書館法を通読することができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)図書館法を最後まで読む	180	規律性 傾聴力 実行力
3週 /	図書館に関する法律・法規① 図書館に関する法律について学ぶ	講義 質疑応答	法体系の中での図書館の位置付けを知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)授業で扱った関係法規を復習する	180	規律性 傾聴力
4週 /	図書館に関する法律・法規② 図書館に関する法規について学ぶ	講義 質疑応答	法体系の中での図書館の位置付けを理解することができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)公共図書館へ行き、サービスについてレポート作成する。	180	規律性 傾聴力
5週 /	図書館の自由 図書館の自由に関する宣言	講義 レポート提出	図書館の自由に関する各種事例を知ることができる	(宿題)図書館サービスについて発表準備をする。	180	主体性 規律性 傾聴力
6週 /	レポート発表 コメント記入	図書館見学についてのレポート発表を行い、質問・感想を述べる(全員)。	他の人の発表を批判的に聞き、意見を述べることができる。	(復習)第4回時に配布した資料を読み返す。 (宿題)図書館の自由に関する宣言に目を通す	180	発信力 傾聴力
7週 /	図書館政策(国と地方) 図書館に関する政策	講義 質疑応答	国と地方による図書館政策を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)配布資料で図書館政策についての確認	180	規律性 傾聴力
8週 /	図書館業務の理論と実際 図書館業務の実際	講義 質疑応答	様々な図書館業務を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)ランガナタンの五法則に目を通す	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	図書館組織① 館長・司書の役割	講義 質疑応答	館長と司書の役割を理解することができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)配布資料で館長と司書の役割確認をする。	180	規律性 傾聴力
10週 /	図書館組織② 経営と雇用の多様化	講義 質疑応答	図書館経営の問題点を考えることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)配布資料で図書館経営問題点の確認・理解する。	180	規律性 傾聴力
11週 /	図書館施設・設備 図書館施設・設備について実際の図書館建築から学ぶ	講義 質疑応答	図書館施設・設備・家具を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)配布資料で図書館施設・設備・家具についての確認	180	規律性 傾聴力
12週 /	図書館を支える力 (協議会・ボランティア等図書館関係団体) 図書館関係団体について学ぶ	講義 質疑応答	様々な図書館に関する団体を知ることができる	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)配布資料で図書館関係団体についての確認・理解をする。	180	規律性 傾聴力
13週 /	図書館評価について 図書館業務・サービスの調査と評価について学ぶ	講義 質疑応答	図書館経営・サービスの評価に関する方法と考え方を理解する	(復習)配布した資料を読み返す。 (宿題)公共図書館へ行き、図書館施設・設備についてレポート作成する。	180	規律性 傾聴力 課題発見力 創造力
14週 /	図書館と出版流通 新聞社の出版・流通について学ぶ	見学	図書館資料としての新聞、作成元の新聞社を知ることによってマスコミと情報について理解を深めることができる	(予習)新聞を読み、紙面づくりについて考える。 (宿題)図書館と新聞:新聞社見学から学んだこと(文字数1000字～上限なし)	180	規律性 傾聴力
15週 /	図書館と危機管理 図書館経営の現状と課題について	講義 質疑応答 レポート提出(2本)	図書館で発生する危険な事例と対処方法を知ることができる	(復習)第1～15回授業で配布した資料を読み返す。	180	規律性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力



